

# India Weekly

2017年4月24日



(対象期間: 2017/4/17~4/21)

## [株式市場] SENSEX指数の推移 (2016年1月1日~2017年4月21日)



## [株式市場]

世界的に地政学リスクへの警戒感がくすぶる中、インド株式市場は売り優勢となりました。インド気象局が今年のモンスーン期(6月から9月にかけての雨季)の雨量が平年並みとなるとの予想を発表したことが好感されて買い戻される場面もありましたが、週間では小幅な下落となりました。

2017/4/13*	2017/4/21	変化率
29,461.45	29,365.30	-0.33%

\* 4月14日は、祝日のため休場。

## [債券市場] インド本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日~2017年4月21日)



## [債券市場]

4月6日開催の金融政策決定会合の議事録が20日に発表され、インド準備銀行(RBI、中央銀行)の姿勢がタカ派的との見方が広がり、インド10年債利回りは上昇(価格は下落)しました。

2017/4/13*	2017/4/21	変化幅
6.822	6.924	+0.102

\* 4月14日は、祝日のため休場。

## [為替市場] インドルピーの対円レートの推移 (2016年1月1日~2017年4月21日)



## [為替市場]

地政学リスクが意識される中、ルピーは対米ドルで小幅に下落しました。しかし、ムニューシン米財務長官の「長期では強い米ドルは良いことだ」とする発言を受けて円が対米ドルで下落したことから、対円では小動きとなりました。

2017/4/14	2017/4/21	変化率
1.692	1.689	-0.18%

出所: グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

※当資料はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社が情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品等の勧誘・販売を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料でもありません。※当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしも正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料には、現在の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、事前の通知なくこれらを変更したり修正したりすることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来を保証するものではありません。

### イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第379号 / 加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社とは関係がありません。

